

おじゃったもんせ～、かごんま

第62回全九州ろうあ者大会 第41回全九州手話通訳者研修会 inかごしま

メインテーマ

「～ 熱き心 未来を拓く 燃えよ 桜島のように！～」



ご案内

2013年9月6日(金)～8日(日)

- ◆大会式典／鹿児島市中央公民館 ホール
- ◆分科会会場／かごしま県民交流センター・鹿児島市中央公民館
宝山ホール（鹿児島県文化センター）・黎明館

主催：九州聴覚障害者団体連合会

共催：全国手話通訳問題研究会九州ブロック・九州手話サークル連絡協議会

主管：鹿児島県聴覚障害者協会

第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会実行委員会

目次

① ごあいさつ	1
② 開催要綱	2
③ 共通研修（合同）	4
④ 第1分科会（手話）	5
⑤ 第2分科会（災害）	6
⑥ 第3分科会（手話通訳）	7
⑦ 高齢研修会	8
⑧ 女性研修会	9
⑨ 青年研修会	10
⑩ 第1講座（全通研九州ブロック）	11
⑪ 第2講座（九州手話サークル連絡協議会）	12
⑫ 大会式典・アトラクション	13
⑬ 申し込み案内書内地図	14
⑭ 宿泊のご案内	15
⑮ 前夜祭のご案内	16
⑯ お申込み方法のご案内等	17
⑰ 観光案内等	19
⑱ お問い合わせ・変更・取消 連絡用紙	20
⑲ 申込用紙	21

ごあいさつ



九州の皆様におかれましては、日頃から「情報・コミュニケーション法」（仮称）「手話言語法」（仮称）等の法成立に向けての活動に、励んでおられることと存じます。

～熱き心 未来を拓く 燃えよ 桜島のように！～を大会のテーマに「第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会」を開催いたします。

本大会は、9月6日（金）・7日（土）・8日（日）の3日間、九州の仲間と交流できるよう鹿児島市の中心部で開催することといたしました。

会場の鹿児島市中央公民館・かごしま県民交流センター・宝山ホール・黎明館は、市内中心部にあり、皆様の交通アクセスに不便をかけないように、工夫しています。

鹿児島市の城山展望台からは、「雄大な桜島」「美しい錦江湾」が見渡せます。五感に響く大地の鼓動・桜島。桜島は鹿児島のシンボルであります。その桜島のエネルギーのすごさに驚かれることでしょう。

指宿・霧島の温泉、種子島・屋久島・奄美群島などの鹿児島の豊かな自然、明治維新を動かした偉人や知覧特攻平和会館などの歴史、文化や焼酎、黒豚などの郷土料理を楽しむため、多くの観光客が訪れております。九州の皆様、歴史、文化、自然に溢れる鹿児島を満喫して、日頃の疲れを癒して下さい。ぜひ鹿児島へおじゃったもんせ！（お越し下さい！）

現在、私たち実行委員一同、大会準備を本格的に進めています。九州の皆様に満足していただける大会にしたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

平成25年6月

第62回全九州ろうあ者大会
第41回全九州手話通訳者研修会
実行委員長 寿福 三男

第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会 開催要綱

1. 目的

九州各県の聴覚障害者と聴覚障害の福祉などに関わる人々が一堂に会し、障害者の社会参加の促進をめざし研修並びに交流を行い、聴覚障害者の福祉向上に寄与することを目的とする。

また、九州各県の手話通訳関係者等が一堂に会し、聴覚障害者や手話通訳問題について研修を深めることにより、手話通訳制度の前進に寄与することを目的とする。

2. 大会名称

- ◆ 第62回全九州ろうあ者大会
付帯開催：聴覚障害者問題に関わる研修分科会
- ◆ 第41回全九州手話通訳者研修会

3. 会期

- (1) 大会式典及び聴覚障害者問題研修会：平成25年9月6日（金）～8日（日）
- (2) 第41回全九州手話通訳者研修会：平成25年9月6日（金）～7日（土）

4. 会場

かごしま県民交流センター・鹿児島市中央公民館・黎明館・宝山ホール

5. 主催

九州聴覚障害者団体連合会

6. 共催

九州手話サークル連絡協議会
全国手話通訳問題研究会九州ブロック

7. 主管

鹿児島県聴覚障害者協会
第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会実行委員会

8. 後援

鹿児島県、鹿児島県教育委員会、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、鹿児島県議会、鹿児島県市議会、鹿児島県市長会、鹿児島県町村会、社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会、社会福祉法人鹿児島県身体障害者福祉協会、南日本新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KYT鹿児島読売テレビ、KKB鹿児島放送、鹿児島観光コンベンション協会

9. 協賛

名鉄観光サービス鹿児島支店

10. 参加費

第62回全九州ろうあ者大会		第41回全九州手話通訳者研修会	
大会式典・研修分科会参加料	5,500円	大会式典・研修分科会参加料	5,500円
大会式典のみ参加料	2,000円	大会式典のみ参加料	2,000円

11. 参加者動員目標人数 1,200人

12. 日程及び会場(予定)※申込状況により会場の変更があります。

期日	時間	行事名	会場	
9/6 (金)	大会運営委員会等			
	10:00~12:00	大会運営合同委員会	県民交流センター	
	13:00~16:30	九聴連理事会	県民交流センター	
	17:00~18:00	研修分科会関係者打合せ会	県民交流センター	
9/7 (土)	聴覚障害者問題に関わる研修分科会・第41回全九州手話通訳者研修会共通研修			
	10:00~12:00	共通研修会(合同)	中央公民館	
	聴覚障害者問題に関わる研修分科会			
	13:00~17:00	聴覚障害者問題に関わる研修分科会		
		第1分科会(手話)		黎明館
		第2分科会(災害)		県民交流センター
		第3分科会(手話通訳)		県民交流センター
		高齢研修会		宝山ホール
		女性研修会		宝山ホール
	青年研修会		宝山ホール	
	第41回全九州手話通訳者研修会			
13:00~17:00	第1講座(運動・人権)		県民交流センター	
	第2講座(手話サークル活動)		県民交流センター	
18:30~20:30	前夜祭		パレスイン鹿児島	
9/8 (日)	第62回全九州ろうあ者大会			
	10:00~12:00	第62回全九州ろうあ者大会式典	中央公民館	
	13:00~15:30	アトラクション・引き継ぎ式		

13. 大会事務局

第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会実行委員会

〒890-0021 鹿児島市小野1丁目1番1号ハートピアかごしま3階

TEL 099-228-2016 FAX 099-228-6357

E-mail: zenkyusyuroasyataikai@kagoshima-deaf.jp

共通研修(合同)

共通研修「手話・コミュニケーションの再認識」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 事務局長 比嘉 豪

◆ 目 的

今年4月から、障害者総合支援法がスタートし、手話奉仕員養成事業が市町村において必須事業になります。市町村によって、予算確保、講師の量と質など課題が浮き彫りとなり、格差が露呈され、新たな課題が生じると考えられます。また、全日本ろうあ連盟も私たちの先輩達が守り通してきた大切な宝である「手話」の法定化を自ら作ろうと『情報・コミュニケーション法(仮称)』・『手話言語法(仮称)』の策定作業も進めております。この「情報・コミュニケーション保障」は単に聴覚障害者のみではなく、すべての国民の願いに関わる大切なものです。このことをきちんと九州各県民、ひいてはすべての国民に理解を広げて、『情報・コミュニケーション法(仮称)』の実現を目指していきましょう。また、手話を言語として明確に位置づけるため「手話言語法(仮称)」はとても大事なものです。手話そのものの定義や認識を高めていくために、今回、皆さんと一緒に手話・コミュニケーションとは何かを学習し、再認識していきましょう。

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 10:00~12:00

◆ 会 場

鹿児島市中央公民館

◆ 内 容

- ① オリエンテーション
- ② 基調報告 九州聴覚障害者団体連合会 福祉労働対策部長 山口 健二
- ③ 共通研修「国際生活機能分類を解く
～手話言語と情報コミュニケーション～」
手話言語法(仮称)制定推進事業(日本財団助成事業)
講師 筑波技術大学 准教授 大杉 豊氏

第1分科会(手話)

サブテーマ 「手話の歴史を知り 新しい手話を育む！」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会手話通訳対策部長 本村 順子

◆ 目 的

2006年12月13日に第61回国連総会において採択された「障害者権利条約」に日本政府は2007年に署名し、現在、国内では批准を前提とした国内法の見直しや整備が行われています。その法整備作業の根幹として、障害者基本法が2011年の夏に改正され、公布された改正法第3条三には「言語(手話を含む)」と日本で初めて手話の言語性が法律で規定されました。

この機会に、手話言語法(仮称)の実現に向けて、全日本ろうあ連盟は2010年より日本財団からの多大なるご支援・協力をいただき、手話言語法(仮称)制定推進事業を開始し、法案づくりに取り組んでいます。

そこで、言語と認められない様々な原因(権利の剥奪や差別など)を明らかにし、手話は「言語である」ことを多くの方に理解して頂かなければなりません。そのために、私たちが使っている手話はどういうものか、改めて学習していきましょう。

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 13:00~17:00

◆ 会 場

黎明館 講堂

◆ 内 容

- ① 「明治時代の史料からわかる鹿児島の手話について」
手話言語法(仮称)制定推進事業(日本財団助成事業)
講師 筑波技術大学 准教授 大杉 豊氏
- ② 「新しい手話」の作成について(九州班の取組み)
日本手話研究所 標準手話制定部 九州班 班長 山口健二

第2分科会(災害)

サブテーマ「東日本大震災に学び 防災対策に取り組もう！」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 組織部長 中村 稔

◆ 目 的

今から18年前の平成7年の阪神淡路大震災、平成8年に新潟県中越地震、平成11年に能登半島地震、そして2年前の東日本大震災。また、将来には、富士山爆発や南海トラフ大震災の予測もあるくらい、いつ起きるかわからない災害。

九州では特に梅雨や台風による豪雨災害が発生しやすく、風水害は身近な出来事である。しかしながら、聴覚障害者を取り巻く課題はまだ解決されていないままです。例えば、音声による緊急情報が聞こえなかった、交通機関の緊急放送も聞こえなく右往左往してしまった、避難警報と避難注意報の（違いが理解出来なかった）意味を掴めなかった、生活の拠点である地域のつながりが弱くなっている、など多くの課題が残っています。この分科会で、私たちに出来る事は何か？を話し合ってみましょう。

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 13:00~17:00

◆ 会 場

かごしま県民交流センター

◆ 内 容

①東日本大震災から 聴覚障害者災害対策本部(仮称)の取り組み(仮称)
講師 一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長 久松 三二氏

②意見交換

「防災の取組み」－私たちが出来ることは何か－

助言者 一般財団法人全日本ろうあ連盟 事務局長 久松 三二氏
九州聴覚障害者団体連合会 会計部長 太田 陽介

第3分科会(手話通訳)

サブテーマ「権利としての情報・コミュニケーション保障」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 体育部長 吉野 幸代

◆ 目 的

香川県高松市在住のろう者(香川県ろうあ協会会員)は娘さんが入学を希望する専門学校のオープンキャンパスと保護者説明会に出席するために手話通訳派遣を高松市に申請したところ、高松市長より却下されました。却下の理由は、以下の2点で、①専門学校が高松市外にあり、市外への派遣は認められないこと。②専門学校のオープンキャンパスや保護者説明会は義務教育に準ずるものではないので派遣対象にならないこと。

これに納得出来ないと、本人から香川県ろうあ協会に相談があり、香川県ろうあ協会として高松市および香川県の担当部署と交渉してきましたが、一向に進展が見られなかったため、裁判をおこすことを決定するに至りました。

今回は「高松市の手話通訳派遣を考える会」の会長である香川県ろうあ協会近藤龍治氏より、この経緯や進捗状況を聞きます。そして、障害者自立支援法に基づくコミュニケーション支援事業である手話通訳派遣事業の広域派遣や派遣の範囲規定の不備から生じる制度上の問題や手話通訳ネットワークの在り方を、参加者の皆さんと一緒に討議しましょう。

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 13:00~17:00

◆ 会 場

かごしま県民交流センター

◆ 内 容

- ①高松市の手話通訳派遣における裁判について(仮称)
講師 公益社団法人 香川県聴覚障害者協会 会長 近藤龍治氏
- ②意見交換「手話通訳ネットワークについて、皆さんと考えてみましょう」
助言者 公益社団法人 香川県聴覚障害者協会 会長 近藤龍治氏
九州聴覚障害者団体連合 理事長 松永 朗

高齢研修会

サブテーマ 「鹿児島県の歴史を学びましょう！！」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 高齢部長 藤瀬 清

◆ 目 的

鹿児島県の歴史は、鹿児島県が生誕地である西郷隆盛・大久保利通をはじめ、明治維新の立役者を多数輩出し、今日の礎を築いたことを抜きに語ることは出来ません。県内随所にその足跡を伝える場所が残されています。石堀に西南戦争の弾痕を残す私学校(西郷が開いた私塾)跡や西郷の終焉(しゅうえん)の地があり、明治という激動の時代の息吹を今に伝えています。

また、明治維新において鹿児島(薩摩藩)が重要な役割を果たすことができた背景には、藩の財政改革の成功があると言われています。

このように、日本の歴史や社会を大きく変える人物を生み出してきたのは、質実剛健と評される薩摩人の気風と、それをはぐくむ風土によるものかもしれません。今年は、その鹿児島県の歴史を学んでみましょう。

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 13:00~17:00

◆ 会 場

宝山ホール

◆ 内 容

①鹿児島県の歴史について(西郷隆盛、大久保利道、篤姫など)

講師 西郷南洲顕彰館 館長 高柳 毅 氏

②自由討論 趣味活動等で、困ったことはありませんか?

女性研修会

サブテーマ 「生活に密着した 手話通訳を考えてみましょう」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 女性部長 穂田 綾子

◆ 目 的

私たち女性は、生活・教育・子育て・仕事など幅広く活動しています。特に、手話通訳を多く利用しています。全日本ろうあ連盟は、「手話は言語である」という見識を正しく広め、聴覚障害者自身が、自己選択、自己判断が出来る社会づくりのため「情報・コミュニケーション法(仮称)」、そして、「手話言語法(仮称)」の確立に向けて国民に理解を広めるとともに、安心して暮らせる社会の構築を目指して更なる運動を行なっています。

そこで、生活の前線にいる私たちが、望ましい手話通訳とは何かを、皆さんと一緒に学び、意見をどんどん交わしながら、提言してみませんか？

◆ 日 時

2013年9月7日(土) 13:00～17:00

◆ 会 場

宝山ホール

◆ 内 容

①「手話通訳」とは何か、皆で考えましょう

社団法人滋賀県ろうあ協会 事務局長

財団法人全日本ろうあ連盟 監事 中西 久美子氏

②自由討論

周りの人(近所、学校、病院など)に手話、手話通訳を広めるには？

青年研修会

サブテーマ 「夢を追いかけ、社会問題を訴えている ろう活動者の生き方を学ぶ」

◆ 司 会

九州聴覚障害者団体連合会 青年部長 吉田 敬

◆ 目 的

青年を中心として、ろう者が社会参加をする上で、ぶつかるさまざまな困難や問題などを話し合い、知識を深め、視野を広げ、連帯と交流を深め、ろう者の社会の発展、ひいては人間社会の建設を図ることを目的とします。

◆ 日 時

2013年9月7日（土）13:00～17:00

◆ 会 場

宝山ホール

◆ 内 容

- ① 公演「命-自分らしく生きる-」講師 映像作家 今村 彩子氏
聞こえないというだけで、社会進出が制限されている現在、自分の夢を貫き通し、聴覚障害に関わる問題や生き方を社会に発信している若いろう者がいます。彼らの活動を学ぶことで、自分らしく生きることはなにかを改めて再考していただきたいと、映像作家の今村彩子氏をお招きし、ご講演いただきます。

- ② 今村彩子氏が作成した映画

◇紹 介

名古屋出身／Studio AYA 代表
愛知県立豊橋聾学校高等部卒業／愛知教育大学教育学部卒業
大学在籍中にカルフォルニア州立大学ノースリッジ校に留学し、
映画制作・アメリカ手話を学ぶ。
現在、名古屋学院大学・愛知学院大学で講師をする一方、
ドキュメンタリー映画制作で国内だけにとどまらず、
アメリカやカナダ、韓国など海外にも取材に行く（HP より引用）

第1講座

サブテーマ「 運動・人権 」

全通研九州ブロック担当

◆ 司 会

石川 陽子（沖縄支部）

◆ 目 的

- ① ろうあ運動が障害者制度改革全般の中でどのように位置づけられ、コミュニケーション保障が障害者施策全般のなかで、どのような意味を持つのかを学ぶ。
- ② 日常の手話活動・手話通訳活動を振り返る中で、もう一度、基本に返り、原点を見つめなおすとともに、忘れがちなそれぞれの初心を確認する。

◆ 日 時

2013年9月7日（土）13：00～17：00

◆ 会 場

かごしま県民交流センター

◆ 内 容

13：00～13：15 受付・オリエンテーション

13：15～15：00 講演①「障害者制度改革を実現させるために」
講師：藤井克徳氏（JDF・交渉中）

15：15～17：00 講演② 「いまさら聞けない手話通訳の秘密」
講師：梶原初子氏（熊本支部）

第2講座

サブテーマ「手話サークル活動について」

◆ 司会

九州手話サークル連絡協議会 副会長

◆ 目的

私達を取り巻く環境は、著しく変化をしています。そのような中、手話サークルのあり方や果たす役割が問われてきています。

今、手話サークルに何が求められているか「今後の手話サークル活動や組織リーダーのあり方」を追求することを学習の目的とします。

◆ 日時

2013年9月7日(土) 13:00～17:00

◆ 会場

かごしま県民交流センター

◆ 内容

13:00～14:50 講演：「手話サークルに望むこと」
～魅力あるサークルであるために～
講師：中橋 道紀氏
(全日本ろうあ連盟 情報・コミュニケーション委員会 委員長)

15:10～17:00 活動事例発表
テーマ：「サークルの例会を覗いてみよう♪」
担当：福岡県 田川手話の会
※講演を聞くだけでなく、参加者を交えた学習会

- ◆日時 2013年9月8日(日)
- ◆会場 中央公民館
- ◆参加費 2,000円(大会記念誌・記念品・昼食)
- =第一部= 式典 10:00~12:00
- =第二部= アトラクション

①特別記念講演 13:00~14:00

テーマ:『「過去から学べ」特攻の母 鳥浜トメと特攻隊員の真実』

講師:鳥濱 明久氏

○プロフィール○

昭和35年 鹿児島県川辺郡(現在南九州市)知覧町にて生まれる
 昭和63年 和食レストラン「知覧茶屋」開業
 平成5年 有限会社 鳥浜を設立
 平成13年10月 資料館「富屋食堂ホテル館」を始める
 平成14年 有限会社 ホテル館を設立



②原 邦洋の楽しいマジックショー 14:10~14:30

プロマジシャン 原 邦洋氏

○プロフィール○

1946年(昭和21年)鹿児島県霧島市霧島町に素朴な環境で生まれる。
 大田小学校3年の時、担任の故外園兼盛先生の手品に驚き、興味を持つ。
 24歳の時、交通事故に遭い一年半の入院をした後、指宿市立丹波小・指宿養護学校など40年以上にわたり三百ヶ所に近い諸施設にアマチュアマジシャンとしてマジックショーでボランティア活動訪問。青少年の健全育成に興味があり、以前は鹿児島市立武小学校のPTA会長など地域活動や豊かな人生経験を生かして老若男女を問わず楽しむため見ている人に夢や感動を与える。
 現在は全国各地でマジックショー、各種催しや夏祭りなどの出演や司会で大活躍中。



③鹿児島聾学校 和太鼓 14:40~15:00

和太鼓テーマ

「DRUM 鹿聾 ～未来へのリレーつなぐ歴史のバトン～」

○プロフィール○

鹿児島聾学校は昨年、創立 110 周年を迎えた歴史のある鹿児島県でただひとつの聾学校です。
 遠くは離島の生徒も在籍しており、現在 69 名の幼児・児童生徒が毎日学習に励んでいます。
 本日は、昨年の 110 周年記念式典の際に行った和太鼓演奏を披露します。
 力強い演奏をお楽しみください。



④引継式 15:20~

第62回全九州ろうあ者大会・第41回全九州手話通訳者研修会
会場・指定宿泊ホテルご案内地図



(大会・研修会 会場)

会場名	鹿児島中央駅から (市電利用)	鹿児島中央駅から (タクシー)
かごしま県民交流センター	電停「水族館」下車後、徒歩4分	いずれの会場まで所要約10分 (1,300円前後)
黎明館	電停「市役所前」下車後、徒歩5分	
宝山ホール	電停「名山町」下車後、徒歩6分	
鹿児島市中央公民館	電停「名山町」下車後、徒歩6分	

(指定宿泊ホテル一覧)

地図番号	ホテル名	地図番号	ホテル名
①	リッチモンドホテル鹿児島金生町	⑩	かごしまプラザホテル天文館
②	チサンイン鹿児島	⑪	パレスイン鹿児島
③	グリーンリッチホテル鹿児島天文館	⑫	鹿児島東急イン
④	レム鹿児島	⑬	ホテルタイセイアネクス
⑤	東横イン鹿児島天文館2	⑭	東横イン鹿児島中央駅東口
⑥	鹿児島ワシントンホテルプラザ	⑮	JR九州ホテル鹿児島
⑦	ブルーウェーブイン鹿児島	⑯	ホテルアービック鹿児島
⑧	法華クラブ鹿児島	⑰	東横イン鹿児島中央駅西口
⑨	東横イン鹿児島天文館1	⑱	ホテルクレスティア鹿児島

※会場と鹿児島中央駅及び各指定ホテルは市電(路面電車)にて移動可能な場所にあります。

宿泊のご案内

- 宿泊設定日 【前泊】 9月6日（金） / 【当日泊】 9月7日（土） / 【後泊】 9月8日（日）
 ■ 大会指定宿泊ホテル一覧（表示の金額は1泊朝食付・税金・サービス料込のお1人様の料金です。）

地区	●ページ 地図 番号	ホテル名 【JR鹿児島中央駅からの距離】	大会会場 (中央公民館) からの距離	部屋タイプ	申込 記号	宿泊料金	宿泊者 駐車料金 (1泊1台あたり) ※当日払い
天文館	①	リッチモンドホテル鹿児島金生町 【市電利用で約12分】	徒歩約6分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	A-1 A-2	7,500 7,500	1,000円
	②	チサンイン鹿児島 【市電利用で約12分】	徒歩約10分 市電利用で約10分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	B-1 B-2	7,000 6,500	1,000円
	③	グリーンリッチホテル鹿児島天文館 【市電利用で約12分】	車で約6分 市電利用で約10分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	C-1 C-2	7,500 5,500	1,500円
	④	レム鹿児島 【市電利用で約8分】	車で約6分 市電利用で約10分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	D-1 D-2	7,500 7,000	1,000円
	⑤	東横イン鹿児島天文館2 【市電利用で約8分】 ※下記(4)参照	車で約6分 市電利用で約10分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	E-1 E-2	6,500 5,000	500円(予)
	⑥	鹿児島ワシントンホテルプラザ 【市電利用で約8分】	車で約7分 市電利用で約11分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	G-1 G-2	7,500 7,000	1,260円
	⑦	ブルーウェーブイン鹿児島 【市電利用で約10分】	車で約7分 市電利用で約11分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	H-1 H-2	6,500 5,500	1,050円
	⑧	法華クラブ鹿児島 【市電利用で約7分】	車で約7分 市電利用で約10分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	J-1 J-2	7,000 6,500	1,050円
	⑨	東横イン鹿児島天文館1 【市電利用で約10分】 ※下記(4)参照	車で約7分 市電利用で約11分	シングル(1名1室)	K-1	5,500	1,200円
	⑩	かごしまプラザホテル天文館 【市電利用で約12分】	徒歩約8分 市電利用で約12分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	F-1 F-2	6,000 6,000	1,000円
	⑪	パレスイン鹿児島[9/7(土)前夜祭会場] 【市電利用で約15分】	車で約10分 市電利用で約14分	シングル(1名1室)	L-1	6,500	1,000円(予)
鹿児島 中央駅前	⑫	鹿児島東急イン 【徒歩約5分】	車で約10分 市電利用で約12分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	M-1 M-2	7,500 6,500	1,100円
	⑬	ホテルタイセイアネックス 【徒歩約4分】	車で約10分 市電利用で約12分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	N-1 N-2	7,000 6,000	800円
	⑭	東横イン鹿児島中央駅東口 【徒歩約4分】 ※下記(4)参照	車で約10分 市電利用で約18分	シングル(1名1室)	P-1	6,000	500円
	⑮	JR九州ホテル鹿児島 【徒歩約1分】	車で約10分 市電利用で約20分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	Q-1 Q-2	7,000 7,000	1,000円
	⑯	ホテルアービック鹿児島 【徒歩約2分】	車で約10分 市電利用で約20分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	R-1 R-2	6,500 6,500	500円
	⑰	東横イン鹿児島中央駅西口 【徒歩約2分】 ※下記(4)参照	車で約10分 市電利用で約20分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	S-1 S-2	6,000 5,000	500円
	⑱	ホテルクレスティア鹿児島 【徒歩約3分】	車で約10分 市電利用で約20分	シングル(1名1室) ツイン(2名1室)	T-1 T-2	6,000 5,500	500円

※各ホテルの場所につきましては14ページの案内図をご覧ください。

（お願い）大会運営の関係上、できるだけ大会事務局を通じた宿泊の申込をいただくようご協力をお願いいたします。

【ご宿泊に関するご注意とお願い】

- （1）宿泊のお申込みにつきましては、申込書に宿泊ホテル一覧表中の申込記号をご記入ください。
- （2）各ホテルとも部屋数には限りがありますので、満室の場合はご希望に沿えない場合がございます。その場合は別のホテルをご案内させていただきます。
- （3）ツイン（2名1室）をご希望の場合は同室希望者を申込書にご記入ください。
- （4）禁煙ルーム又は喫煙ルームのご希望も申込用紙にご記入ください。なお、予約状況によりましてはご希望に沿えない場合もございます。予めご了承ください。
- （5）⑤・⑨・⑭・⑰のホテルにつきましては朝食が軽食（おにぎり・味噌汁程度）となります。
- （6）上記表の「駐車料金」とは1泊あたりの普通車の駐車料金です。駐車料金は当日ホテルへ直接お支払いください。なお駐車料金に（予）と記載されているホテルの駐車場をご利用の場合は事前に予約が必要です（申込書の備考欄に車の台数をご記入ください）。それ以外のホテルは予約制ではありません。満車の場合は上記の駐車料金が適用されない場合もございます。あらかじめご了承ください。

前夜祭のご案内

■開催日時：9月7日（土）18時30分開会
（20時30分閉会）

■場 所：パレスイン鹿児島2階「孔雀の間」

※市電「高見馬場」駅より徒歩6分
（大会会場より市電利用で約14分、車で約10分）

■参加費：お1人様6,000円

（料理・お飲物・消費税込）

■参加ご希望の方は申込書の「前夜祭」欄に○印をご記入ください

（ご参加の皆様との意見交換や親睦を深めるため、お誘いあわせの上ぜひご参加ください。）

※ご参加は事前予約制とさせていただきます。当日の申込はできませんので、あらかじめご了承ください。



お申込み方法のご案内

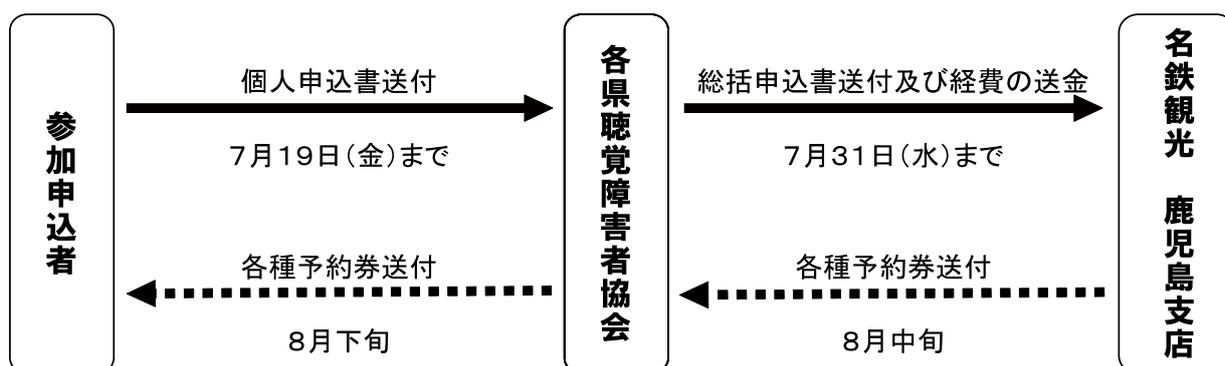
■申し込み方法と申し込み期限 2013年7月19日(金)

この日までに所属の聴覚障害者協会・手話サークル事務局に個人申込書と参加費等を添えてお申込みください。

※大会参加のみの方(宿泊等不要な方)も必ずお申込み下さい

各県の聴覚障害者協会は、全通研・県手連からの申込も含めて、個人申込書(コピー)と別紙の総括申込書とともに7月31日(水)までに名鉄観光サービス(株)鹿児島支店へお申込みください。

お申込みの流れ(鹿児島県外からの参加者)



※鹿児島県内の参加申込は地元協会です受付します。

※盲ろう者介助・盲ろう者通訳については、各自でおねがいします。

※託児希望の方は、申し込み用紙にご記入ください。また、オムツ・おやつ・飲み物等は、記名し各自ご持参ください。

お申込み後の変更・取消について

■変更・取消が生じた場合は、20ページの「問い合わせ・変更・取消連絡用紙」にご記入の上、用紙をFAXもしくは郵送にて名鉄観光サービス鹿児島支店へお送りください。

※お電話での変更・取消は承っておりませんので、予めご了承ください。

■お申し込み後の取り消しにつきましては、下記の規定となります。

①大会参加費・研修分科会参加費について

参加取消の場合、大会参加費・研修分科会参加費の返金はできません。

②宿泊・前夜祭について

お客様のご都合による取消・変更につきましては下記の規定により取消料を申し受けます。

取消 期日	利用日の 21日前 まで	利用日の 20日～8日前 まで	利用日の 7日～2日前 まで	利用日の 前日	利用日 当日 (開始・出発前)	出発・開始後取 消及び無連絡 不参加
取消 料率	無料	20%	30%	40%	50%	100%

※取消・変更の基準日は、当社営業日・営業時間内(平日:9時～17時、土・日・祝日休業)のFAX通信を有効といたします。

■ご入金後の申し込み内容の変更や取消によって発生いたしましたご返金は、大会終了後に(1ヶ月以内に)送金させていただきます。

※ご返金につきましては、上記の取消料及び所定の振込手数料を差し引いた額をご返金いたします。

個人情報の取扱について

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関及び手配代行者に提供いたします。また、主催者事務局様に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただく個人情報は、利用いたしません。

詳しくは弊社ホームページ (<http://www.mwt.co.jp/info/kojinjohogo.shtml>) をご覧ください。

ご旅行条件の要約

募集型企画旅行契約

宿泊・前夜祭は名鉄観光サービス(株) (愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目14-19 観光庁長官登録旅行業55号・以下「当社」という) が企画する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。また、契約の内容・条件とは各プランごとに記載されている条件のほか、下記条件出発前にお渡しする確定書面及び当社募集型企画旅行契約の部によります。

旅行の申し込み及び契約成立

所定の申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込み下さい。また指定の期日までに代金をお振込み下さい。

本研修会は組織募集であり、主催者が確定しているため、旅行契約はお申込金なしであっても、お申し込み書面を頂いた時点で成立するものとします。

旅行代金に含まれるもの

各プランの旅行日程に明示された宿泊費、特別補償および消費税が含まれます。なお、行程に含まれない交通費等諸費用および個人的費用は含みません。

旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は平成25年3月4日を基準としています。旅行代金は平成25年3月4日現在有効な運賃・規則を基準としております。

企画実施

観光庁長官登録旅行業第55号
名鉄観光サービス(株)
日本旅行業協会正会員
ボンド保障会員
【承認NO. 九営本S13-0411】

【統括申込書送付先・お問合せ先】

〒892-0846 鹿児島市加治屋町18-8 三井生命ビル4階

名鉄観光サービス(株)鹿児島支店

総合旅行業取扱管理者 安達 恒治

TEL099-227-1311 FAX099-227-1758

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日休業

担当者：濱田・安達

観光のご案内

観光コースの紹介はありません。

鹿児島県観光連盟が運営する、観光情報サイト HP をご紹介します。
県内各地の観光、イベント、グルメ、宿泊などの情報が満載されているお勧めのサイトです。

【鹿児島観光サイト/本物の旅かごしま】HP <http://www.kagoshima-kankou.com/>



大会用ホームページのご案内

アドレス：<http://www.kagoshima-deaf.jp/deaf62th/>

☆鹿児島県聴覚障害者協会公式 HP からバナーをクリック



お問い合わせ・変更・取消 連絡用紙

(お問い合わせ・変更・取消の内容をご記入ください)

キ
リ
ト
リ
線

【 送 付 先 】

〒892-0846鹿児島市加治屋町1 8 - 8 三井生命ビル4階
名鉄観光サービス(株)鹿児島支店
TEL099-227-1311 FAX099-227-1758
営業時間：月～金曜日 9:00～18:00 土曜・日曜・祝日休業
担当者：濱田・安達

申込書（個人用）

この申込書を**7月19日(金)**までに入会されている団体へ提出してください。

日付	行事名	参加費	希望欄	金額		
9/7 (土)	関 聴 わ る 障 害 研 修 問 題 科 に 会	第1講座「手話」		3,500円	円	
		第2講座「災害」		3,500円	円	
		第3講座「手話通訳」		3,500円	円	
		高 齢		3,500円	円	
		女 性		3,500円	円	
		青 年		3,500円	円	
	全九州手話 通訳者研修 会	第1講座 全通研九ブ		3,500円	円	
		第2講座 九手連		3,500円	円	
	保 育 申 込			1,000円	円	
前 夜 祭			6,000円	円		
9/8 (日)	第62回全九州ろうあ者大会		2,000円	2,000円		
	保 育 申 込		1,000円	円		
参加費 小計				円		
宿 泊	宿泊日	申込記号 第1希望	申込記号 第2希望	ツイン同室希望者	禁煙喫煙希望	金 額
	(記入例)	A-1	B-1	鹿児島 太郎	禁煙	7,500円
	9月6日(金)					円
	9月7日(土)					円
	9月8日(日)					円
宿泊費 小計						円
総合計(参加費小計+宿泊費小計)						円
大会本部を通さずに別にインターネット等で宿泊ホテルを予約される方は右記にそのホテル名をご記入下さい。助成を申請するために必要です。ご協力をお願いします。			ホテル名			
ふりがな				年 齢	性 別	
氏 名				歳	男 ・ 女	
住 所	〒			FAX		
				TEL		
		聴障者	健聴者	盲ろう者		
上記本人の情報 コミュニケーション手段		手話 ・ 要訳筆記 その他 ()				
保育申込者	名 前				歳	男 ・ 女
					歳	男 ・ 女
保育で注意すること (アレルギーなど)						
来県交通手段		JR ・ 高速バス ・ 飛行機 ・ 船 ・ 普通乗用車 貸切バス (バス会社名:)				



第62回全九州ろうあ者大会
第41回全九州手話通訳者研修会実行委員会

鹿児島県聴覚障害者協会 事務局

〒890-0021 鹿児島市小野1-1-1 ハートピアかごしま3階

TEL : 099-228-2016 FAX : 099-228-6357

E-mail : zenkyusyuroasyataikai@kagoshima-deaf.jp

<http://www.kagoshima-deaf.jp/deaf62th/>